



まちづくりの進め方と手法について

齊藤 貢一 議員



質問 前回、官民連携の進め方としてアーバンデザインについて伺いました。今回は館林駅東エリアプラットフォームについて役割と運営について伺います。

発信や人材育成等で相乗効果を生み出すことです。

質問 会員は9団体で、地域住民や特に子育て世代の女性が入っていない中で、果たして市民に開かれた未来ビジョンが示されるのか不安ですが、特ににぎわい創出の中心である旧市役所については、トライアルサ

回答 役割として、まちなかの将来像である未来ビジョンを示すこと、得意分野を知ること、また、情報

ウンディングも途中で挫折し、その主体者も会員となり、また国立近現代建築資料館がオブザーバーとして入っているということは、保存利活用に傾いていることを前提としているのか伺います。

回答 トライアルサウンディングは保存を前提としたものではありません。今後の具体的な方針が決定されるまで、修繕を行い、長期利用を図っていきます。

質問 トライアルサウンディ

ングでは年間9000人の利用があるそうですが、市の図書館は4万5000人の利用者があります。図書館を含む複合施設に建て替えることが、まちなかににぎわいを生み、市民の利便性を高めることに繋がります。中央通り線については、土地の高度化利用をあげていますが、今後、容積率や建蔽率、建築面積、壁面の後退距離等の緩和に取り組む予定はありますか。

回答 必要に応じて検討していきます。



市役所職員の悲痛な叫びについて

吉野 高史 議員



質問 「市役所職員の悲痛な叫び」について伺っています。この件につきま

しては、昨年9月の決算特別委員会初日に質問を行ったのは、「存じのとおりです。この3月で退職を申し出て

いる20代、30代の職員は何人いるのか。

回答 令和5年度は14人、

6年度は9人です。

要望 メンタル面を、係長・課長・部長が部下をサポートしてほしい。

質問 市役所職員に対し、3つのゼロ（退職者、休職者と私への誹謗中傷）をどう思うか。

回答 早期の退職者は、本市に限らず、増加傾向にあ

ります。全職員が一丸となって働ける環境を整えることを考えます。

質問 先ほどの齊藤議員と寺内部長の質疑を聞いていたと思うが、あなたはただらと答弁しています。もつと端的に答弁ができませんか。

若い議員さん方は「後の世の歴史の法廷の被告席にたたされるということ」を考えて議員活動を行ってほしいと願っています。具体的には、原告の若い人たち

から、「お前のじいさん、ばあさんが行政チェックをまともに行っていれば、もつと活力のある館林になったのに」と有罪の判決を下されることになりました。市長のチラシには「行政の意識改革」とあるが、具体的な内容をお願いします。

回答 人は城、人は生け垣ということ、職員は財産だと思っています。

要望 市長なりに努力しているのか、形にも見えてこないし、どんな動きか私に

は全然分らない。成島南区民会館に接している土地について、市に圧力をかけて買わせようとしている議員は誰なのか。また、その土地絡みで、集団による恐怖政治として強引に押し進めようとしている人たちは大きく非難を受けることになってしまふと考えられます。渋谷議長就任のあいさつで、行政チェックを行うとあったが、議員一人一人が自覚を持っていたかどうかを要望します。

ていくことも考えられます。

要望 沿線の小規模区画整理の必要も出てくると思

いますが、歴史の小径を活かした古い町並みに固執してまちづくりを進めるのか、

立地適正化計画に基づく居住誘導区域に見合った土地の高度利用を進めるのか

で、街並み、居住環境は変わってきます。館林駅東エリアプラットフォームの中では、幅広い意見集約のもと、「未来ビジョン」を策定

してください。